

SHIKISHIMA

AREA

GRAND DESIGN

敷島エリア
グランドデザイン

群馬県・前橋市



まえがき

敷島公園は、前橋市北西部の利根川が隣接する自然豊かな場所に位置し、1922年に前橋市民のための公園として設立されて以来、運動施設やばら園の整備による余暇機能の拡張と専化、国体開催や観光資源の機能集積、全国からの集客に向けた全国都市緑化ぐんまフェア開催、公園施設のリノベーションやサービス強化等を経て、開園から100年が経過しました。

価値観が多様化し、人口減少や高齢化が進展するなか、人生100年時代の到来とともに、今後は「一人ひとりが心身ともに幸せか」という“Well-Being”な意識が益々高まってくることが想定されます。

このような時代背景を踏まえ、50年先までを見据え、敷島公園を中心とした敷島エリアが社会に求められる「あるべき姿」を実現するため、今後のまちづくりや公園整備・保全の指針となる「敷島エリアグランドデザイン」を群馬県と前橋市が共同で策定しました。

この「敷島エリアグランドデザイン」により、世界に誇ることのできる魅力ある敷島エリアとして、次の世代に継承し続けることを期待します。



目次

基本構想編

将来像・コンセプト	02
敷島憲章	20

デザインガイド編

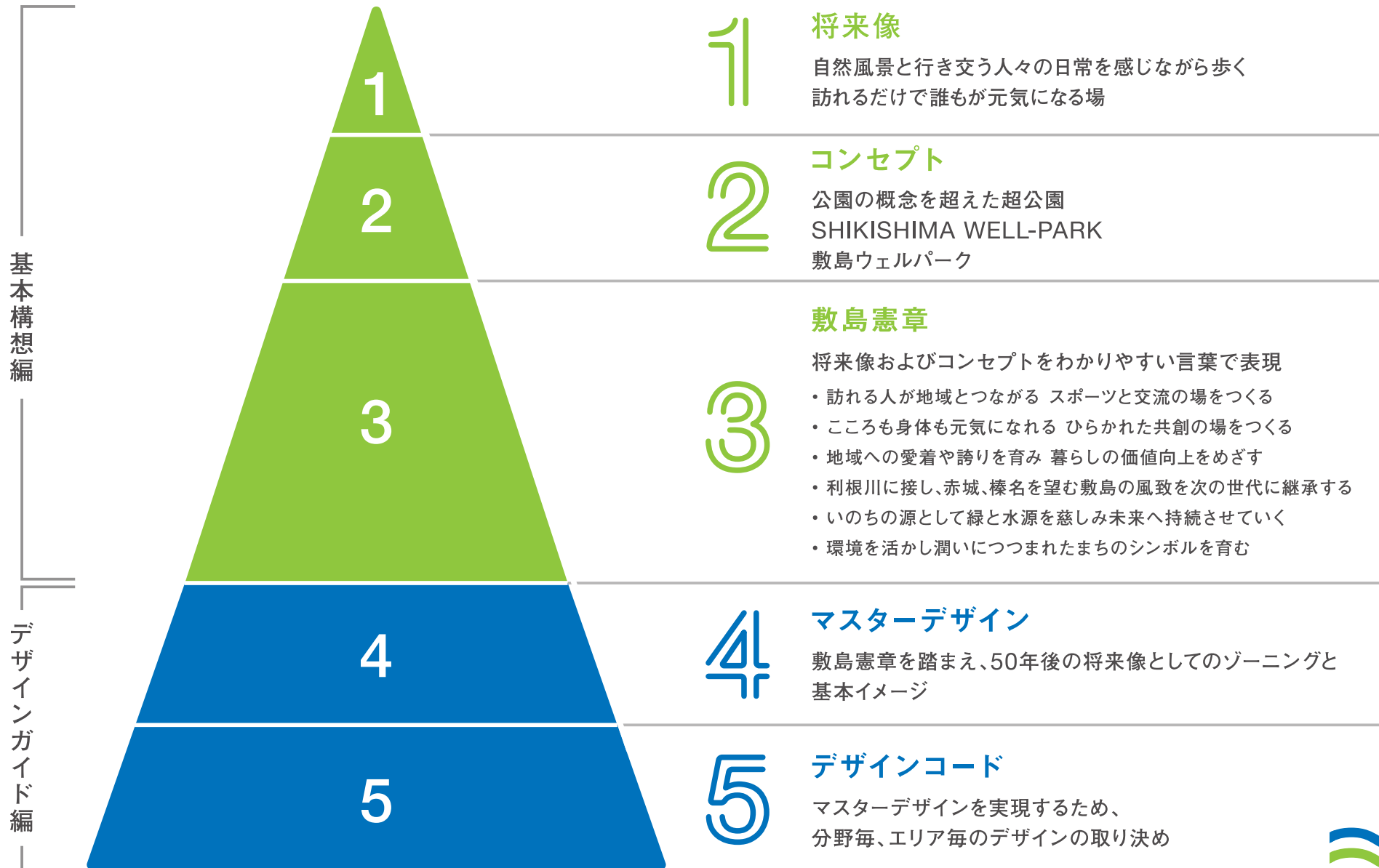
マスターデザイン	28
デザインコード	40

管理運営編

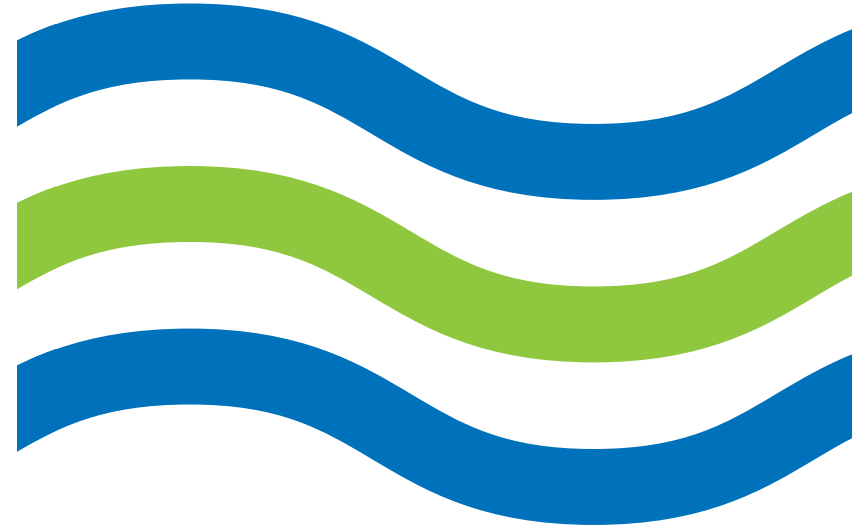
新たなマネジメントの実現	60
--------------	----



概念図



Basic Concept



基本構想編

将来像・コンセプト

Future Image ・ Concept

はじめに

敷島公園エリアの サスティナブル^{※1}・デザイン。 訪れるすべての人々の健やかな 体験と時間を約束する 新しいネイバーフッド^{※2}との 出会いを創出します。

「わたしたちの日常に欠かせない場所」、「友人を誘ってまた訪れたい場所」という思いをいかに醸成し、継続させていくか。コミュニティを育み、“自分が自分らしく居られる”場所と時間をいかに創造するか。その鍵は、地域が有する自然^{※2}のなかで、健やかに生きるネイバーフッドたちとのつながりだと考えます。地域の活気ある市民交流こそが、敷島公園全域の機運と熱量を持続させ、一体感のある親和性を生み出していきます。

^{※3} ウェルビーイング、^{※1} 生きがい、サスティナブル。まちの魅力を持続的に高めていくことだけでなく、市民からでも事業者からでも地域からでも、「敷島公園がある前橋って素敵」と思われるような強いコミュニティづくりを目指して、この不確かな社会の中で、持続可能な地域の魅力づくりを提案します。



※1 サスティナブル…持続可能であるさま。特に、地球環境を保全しつつ持続が可能な産業や開発などについて。 出典:デジタル大辞泉(小学館)

※2 ネイバーフッド…近所、付近、その区域を指す。また、近所の人々、近隣のよしみ、近所つきあい。 出典:プログレッシブ英和中辞典(小学館)

※3 ウェルビーイング…幸福、安寧。身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること。 出典:デジタル大辞泉(小学館)



Beyond 2065。 変化が予測できる日本の未来課題

将来推計人口でみる2065年の日本

ア	9,000万人を割り込む総人口
イ	2.6人に1人が65歳以上、3.9人に1人が75歳以上
ウ	年少人口、出生数とも現在の半分以下に、生産年齢人口は4,529万人に
エ	現役世代1.3人で1人の高齢者を支える社会の到来
オ	男性84.95歳、女性91.35歳まで生きられる

[内閣府ホーム](#) > [内閣府の政策](#) > [共生社会政策トップ](#) > [高齢社会対策](#) > [高齢社会白書](#) >

内閣府 令和4年(2022)版高齢社会白書より



人生100年時代、SDGs、ポストコロナと並び、
近年グローバルアジェンダとして位置付けられる“Well-Being”意識の高まり



GDW - 日本経済新聞
<https://well-being.nikkei.com/about>



飛鳥新社
「GDW興国論 幸福度世界一の国へ」
下村博文(著)



都市間格差の解消と地域活性化を目指す「デジタル田園都市国家構想」 前橋スマートシティ構想との連動を果たし、地域レジリエンスモデルとして構築

めぶく。= Well-Being



デザインシティ前橋市街、健康促進敷島公園、自然共生赤城山。
好条件な環境や状況に既存基盤を組み合わせ、新たな価値を創造する。
潜在するポテンシャルを活かし、差別化が容易かつ発信力の高い
全体構想を目指す。

※レジリエンス:困難や脅威に直面している状況に対して、「うまく適応できる能力」「うまく適応していく過程」「適応した結果」を意味する言葉
出典:平凡社 心理学辞典



これからの社会に求められる状況を見据え、いかに時代を示す共感価値を取り込むのか敷島公園のポテンシャルを最大化し、話題性や満足性を向上するアプローチを考察



自然風景と行き交う人々の日常を感じながら歩く、
訪れるだけで誰もが元気になる場

※サステイナブル…持続可能であるさま。
特に、地球環境を保全しつつ持続が可能な産業や開発などについて。
出典：デジタル大辞泉(小学館)



公園の概念を超えた超公園

SHIKISHIMA WELL-PARK

敷島ウェルパーク

まちのウェルネス拠点、敷島ウェルパーク。

自然を感じ、生活者を感じ、

今を生きることに感謝できる場所。

訪れる全ての人々の健やかな体験と時間を約束する、

世代を超えて愛される暮らしと公園が優しくつながる新たなまちづくり。

訪れるだけで、こころが
満たされワクワクする
環境デザイン

誰かと出会い
対話生まれる
交流拠点機能

世代を超えた
共感共鳴を生み出す
感動体験の創出



構想スケッチ

SHIKISHIMA WELL-PARK

敷島ウェルパーク

敷島公園エリアの景色を変える美しきグリーンストリート。

園内の各種施設を結びつけ、

にぎわい・滞在性の創出に寄与していきます



日常で通いたくなる
カフェスタンド

心身の健康を
支える市民交流

子どもたちの遊び声が
まちの活気を生む

気分を変えて公園で
仕事ができるスペース

パーク内の賑わいを創出し、
市民活動の中心となる交流スペース

四季の移ろいを感じられる
アクティビティコース

スマートな交通手段で
広域にアクセス

植木の知識を学ぶ
ウォーキングガイド



公園に求められる要素①

訪れるだけで こころが満たされ ワクワクする 環境デザイン

運動する人も、しない人も。
お年寄りも家族も若者も。
それぞれがそれぞれの居心地を
見つけることができる空間とは。
目的があっても、目的がなくても
自然に足が向かってしまう
地域の憩いシンボルがここに。



誰かと出会い、 対話が生まれる 交流拠点機能

コミュニティの交流から生まれる
GDW「国内総充実」。

従来の運動公園機能はもとより
地域のコミュニティのハブ機能も実装し
様々な世代の好奇心を刺激しながら
世代を超えた交流を生み出していく。



世代を超えた 共感共鳴を 生み出す 感動体験の創出

互いを思いやる優しさの連鎖。

コミュニティの安心と信頼が
育まれるプログラムの実践。

自分以外の人々との偶発的な出会いや
温かなふれあいは何歳になっても
枯れることのない好奇心を刺激する。



情景から生まれる交流と共創



事例 ①

廃線跡を緑の遊歩道に再生し、
地域の価値向上に寄与した空中公園

ハイライン ニューヨーク・アメリカ

ニューヨーク市にある、高架貨物鉄道の線路跡地を散策路として再生した全長2.3kmの線形公園。建設には「周辺の不動産価値を高め、建設費を上回る経済効果」を実証する調査結果を公表し、設計コンペを行い支援を募った。地道な寄付集めや広報活動が身を結び、著名な俳優や投資家からも大口の寄付を得て資金調達に成功した。

波及効果

- 公園の知名度とともに周辺地価の上昇
- エリア価値の向上により、周辺にホテル、高級アパート、レストランなどが建設された
- 年間500万人の来場者数を誇る
- 魅力的な公共空間がエリア全体の価値を上げることを実証する手本となった
- オープン以来、20億円以上の民間投資を呼び込み、約1万2000人の雇用を創出



事例 ②

線路跡地に公園機能を組み込み再生した
地域コミュニティ憩いの場

ザ・グッズライン シドニー・オーストラリア

シドニーで2015年に、元貨物鉄道線路跡地を空中庭園にリニューアルした「ザ・グッズライン」。1kmもない直線の公園だが、園内には子どものための遊具や、円形劇場、大きな共有テーブルや、コワーキングスペース等を設けており、近隣の学生や住民に大人気。活気に満ちたコミュニティ形成の場として、地域に寄与している。

波及効果

- Wi-Fiを完備しており、園内に設けられている「学習ポッド」でコワーキングも可能
- 円形劇場では頻繁にイベントを開催。屋外での映画鑑賞会や、パフォーマンスが多く行われている
- バリアフリーの遊歩道のため、誰にでも歩きやすい道となっている
- 数多くの、文化・教育機関が周辺にあり、緑の中でリフレッシュしたい利用者も多い



事例 ③

ターミナル駅をつなぐオープンスペースを再開発
歴史遺産を多様な植物でつなぐ歩道公園

キングス・クロス駅 ロンドン・イギリス

ロンドンの都市再生計画において2011年にオープンしたエリア。多くの歴史的建造物が残る地域を歩行者中心ルートで再構築。公園と広場につながったエリアにはオフィス、美術館、ストア、住宅、学校などの複合的な機能を統合し、運河を中心に造園で多様な植物で訪れる人々に憩いの場を提供。さまざまなイベントも開催され、コミュニティの中心地として成長をつづけている。

波及効果

- 持続性の高い植生で構築された緑地は四季を生み出し、来街者が集まるように
- 歩行者を重視したルートでまちを再構成。公園エリアを生み出し、街を一体化し利便性向上
- 歴史的建造物と都市機能を融合、まちの文脈を伝える再生は高く評価される
- 荒廃したエリアを憩いの場に変換し、治安の回復に大きく寄与した



コミュニティの新たな活動拠点となる施設

市民が集うシンボルとなる地域交流センター機能を公園内に展開。
既存施設を公民館的市民交流スペースとして施設不稼働期に流用。
市民初の自発的プログラム活動をサポートし、コミュニティの自主性や
参加性、主体性を高め、敷島運動公園の再活性化を図ります。

関係人口創出による“三方良し”の実現



SHIKISHIMA WELL-PARK × 地域交流センター

※ネイバーフッド…近所、付近、その区域を指す。また、近所の人々、近隣のよしみ、近所づきあい。
出典：プログレッシブ英和中辞典(小学館)



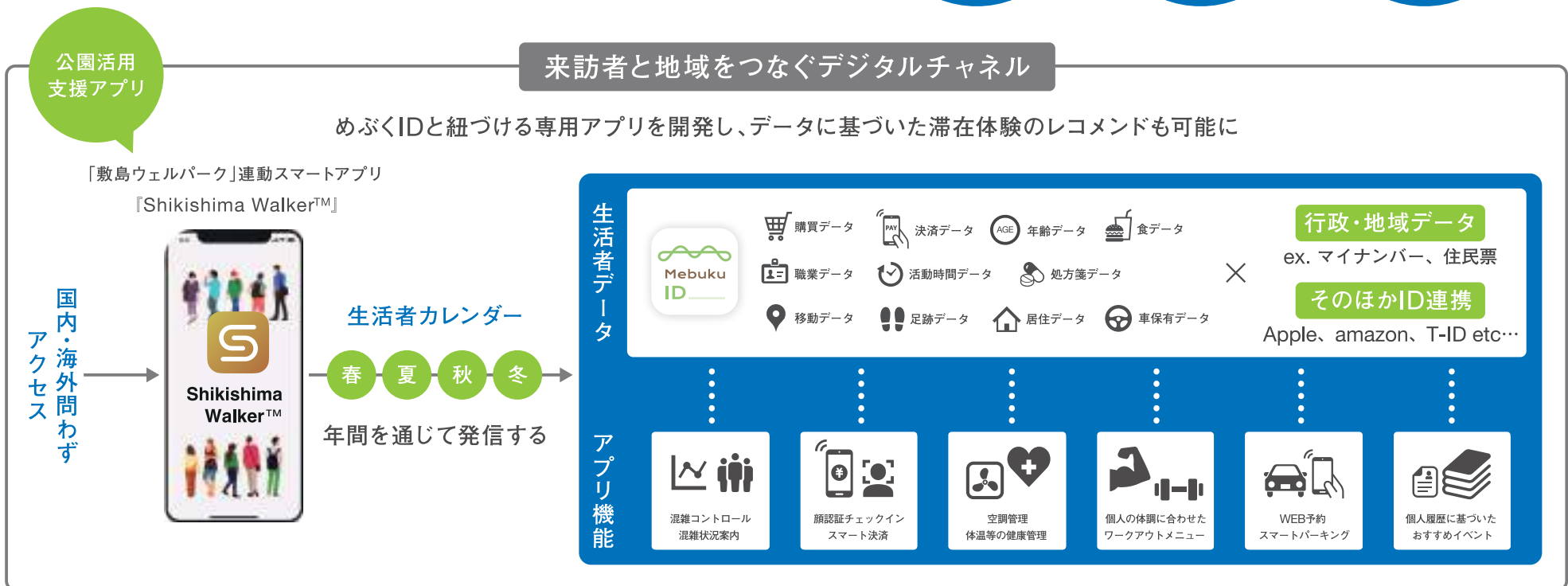
スマート文化経済圏の創造

地域と市民がともにデータを育み、価値還元を生み出す拡張型プラットフォーム。「個人のライフスタイル」と、それを取り巻く「社会」をむすび、テクノロジーとアイデアで価値ある「情報」に磨きあげ、社会に届けることで新しい喜びを提案します。

※ オプトイン率増
(市民参加)

ID連携による
地域データの
完全可視化

属性に応じた
観光シナリオの
提案が可能に



SHIKISHIMA WELL-PARK × コンテクストマーケティングによる地域活性

※オプトイン…活動や団体に対して、参加、加入するという意味。“選ぶ”や“決める”を意味する“opt”に“入る”を意味する“in”がついた形。

出典:一般財団法人インターネット協会



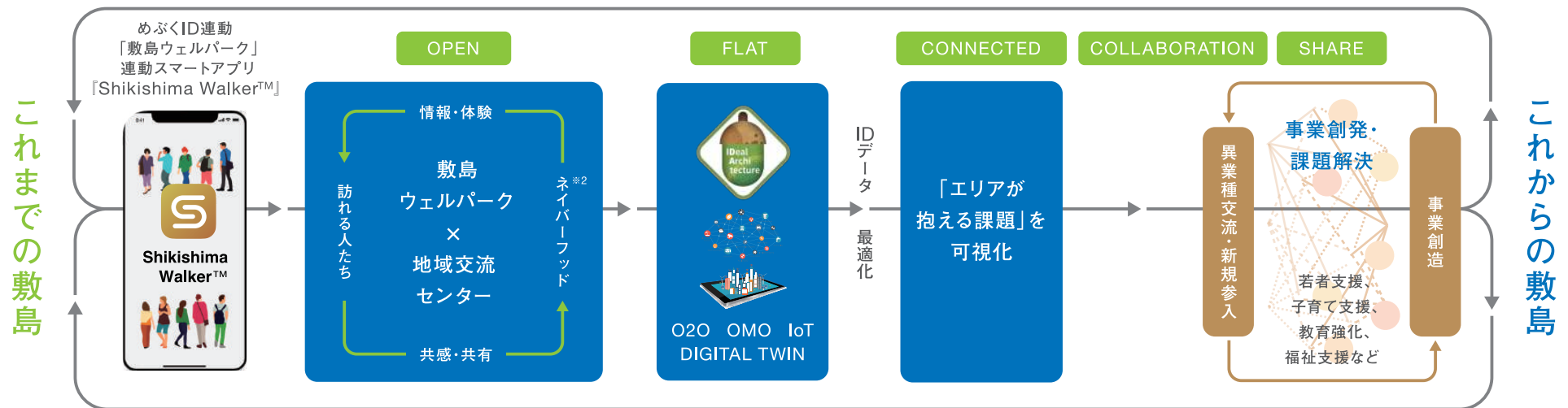
敷島公園エリア循環型自立生活圏

交流から関係へ。地域の知見を活かしたコミュニティ醸成。

人的潜在ポテンシャルを引き出すアップサイクル^{※1}が地域の活性化と新たな雇用や就労機会を生み出していく。自然と人とが有機的に交わり変化し続けることで既存環境を「なくてはならない場所」として循環型自律経済基盤化させる。



リアル行動に基づいたデータフィードバック



DATA for CITIZENS ^{※3} ウェルビーイングな持続可能コミュニティを可視化

※1 アップサイクル…不用品や廃物を再利用して、以前よりも付加価値の高い商品を作り出すこと。 出典:大辞林(三省堂)

※2 ネイバーフッド…近所、付近、その区域を指す。また、近所の人々、近隣のよしみ、近所づきあい。 出典:プログレッシブ英和中辞典(小学館)

※3 ウェルビーイング…幸福、安寧。身体的・精神的・社会的に良好な状態。特に、社会福祉が充実し、満足できる生活状態にあること 出典:デジタル大辞泉(小学館)



敷島ウェルパークにむけて

公園づくりの基本理念 「敷島憲章」制定

歴史と伝統に培われた自然豊かな敷島公園で、
園内の各種施設を結びつけ、
にぎわいと健やかな体験、
世代を超えたコミュニケーションが生まれる新しい
交流拠点を構築します。
誰にもひらかれ、
こころも体も満たされ、
多様な幸せと慈しむ心を感じられる場。
新しい時代の豊かさの象徴として、
地域への愛着や誇りを育み、次の世代に継承し、
進化し続けることを願い、ここに憲章を定めます。





訪れる人が 地域とつながる スポーツと交流の 場をつくる

公園を訪れる多様な人々が、
地域の自然や文化に触れ、
世代を超えた交流が生まれる拠点を
包括的に育てていきます。





2

こころも身体も 元気になれる ひらかれた共創の 場をつくる

誰ひとり取り残されることなく、
心身共に健康になれる場を
多様な立場の人々と共に生み出していきます。





3

地域への 愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上を めざす

地域を思い、
主体的に参加することで、
愛着や誇りが生まれ、
活力あふれるまちの暮らしや、
新しい価値が形成されていきます。

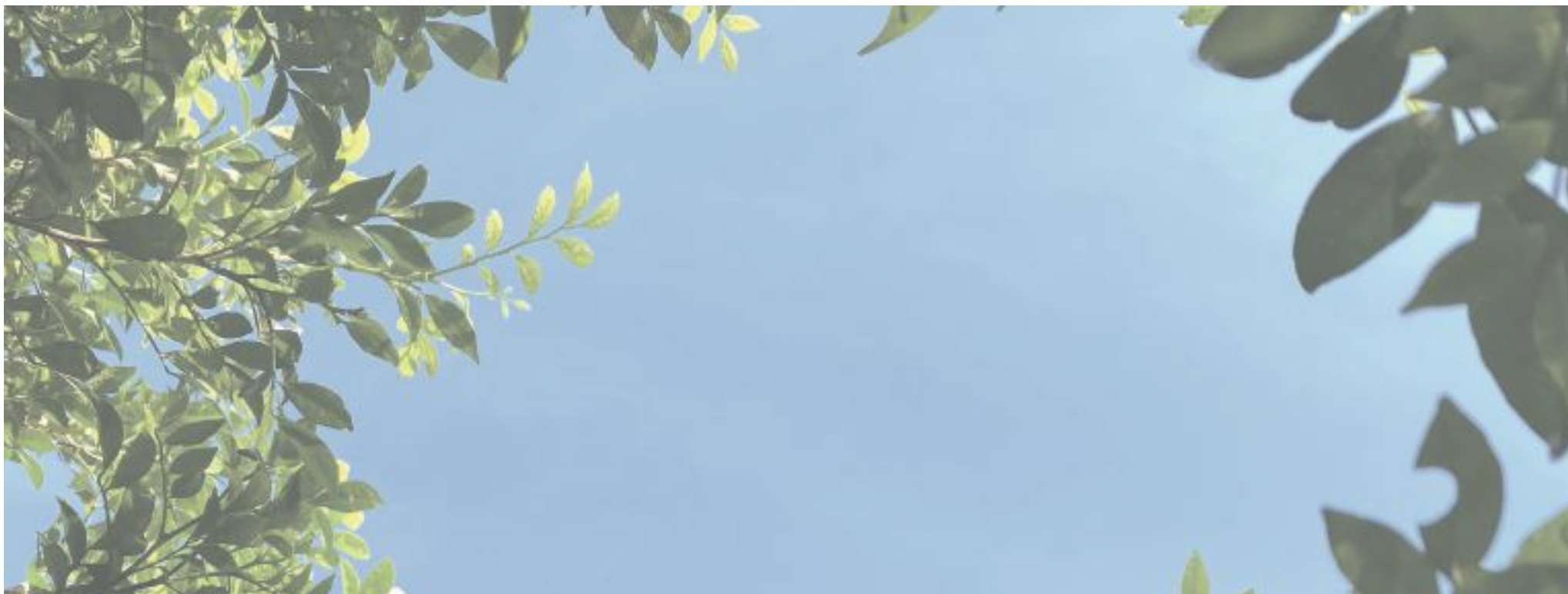




**利根川に接し、赤城、
榛名を望む
敷島の風致を次の
世代に継承する**

先代から受け継いだ、
利根川の松林や雄大な山々の
景観を守り、
次の世代へと大切に
受け継いでいきます。





5 いのちの源として 緑と水源を 慈しみ未来へ 持続させていく

古くから地域の資産である
いのちの源を慈しみ、
美しい水と緑の豊かな自然を
次世代へと継承します。





6

環境を活かし 潤いにつつまれた まちのシンボルを育む

豊かな自然環境に
恵まれたスポーツの聖地は、
世代を超えたまちの
シンボルとして長く愛されていきます。



1 訪れる人が地域とつながる スポーツと交流の場をつくる

公園を訪れる多様な人々が、地域の自然や文化に触れ、世代を超えた交流が生まれる拠点を包括的に育てていきます。

2 心も身体も元気になれる ひらかれた共創の場をつくる

誰ひとり取り残されることなく、心身共に健康になれる場を多様な立場の人々と共に生み出していきます。

3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす

地域を思い、主体的に参加することで、愛着や誇りが生まれ、活力あふれるまちの暮らしや、新しい価値が形成されていきます。

4 利根川に接し、赤城、榛名を望む 敷島の風致を次の世代に継承する

先代から受け継いだ、利根川の松林や雄大な山々の景観を守り、次の世代へと大切に受け継いでいきます。

5 いのちの源として緑と水源を 慈しみ未来へ持続させていく

古くから地域の資産であるいのちの源を慈しみ、美しい水と緑の豊かな自然を次世代へと継承します。

6 環境を活かし潤いにつつまれた まちのシンボルを育む

豊かな自然環境に恵まれたスポーツの聖地は、世代を超えたまちのシンボルとして長く愛されていきます。